

西駒郷への財政支援について

障害福祉課

1 西駒郷の現状と課題

西駒郷基本構想に基づき地域生活移行を進めた結果、入所者数は減少している。

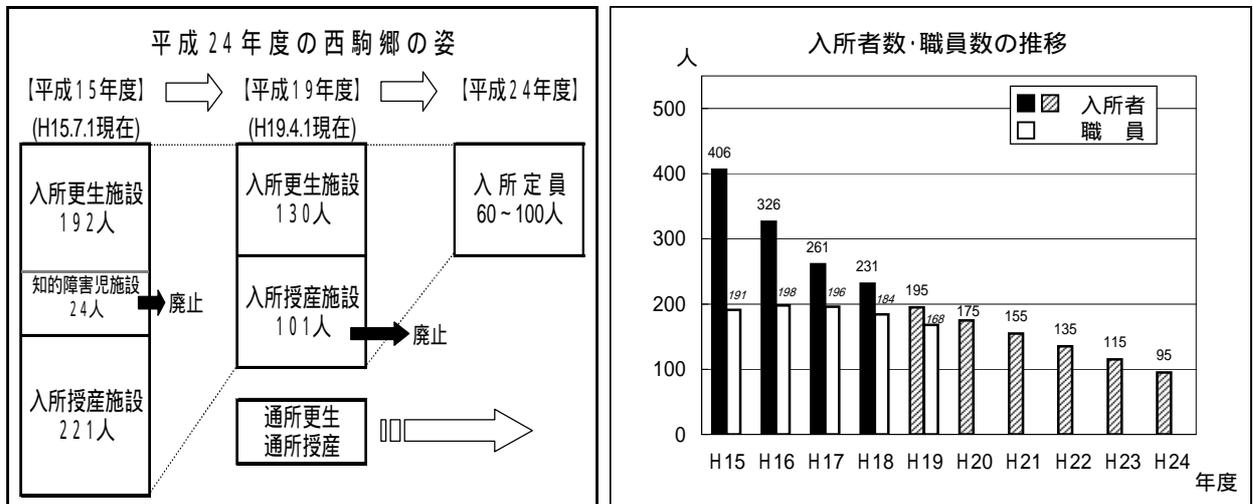
年 度		H 15	H 16	H 17	H 18	合計
地域生活移行者数	計画	32人	65人	65人	50人	212人
	実績	29人	71人	56人	32人	188人
入 所 者 数 (年度末)		406人	326人	261人	231人	

広い敷地の中に、居住棟、訓練棟、作業棟、管理棟など多くの施設が分散して設置されているため、効率的な運営が困難となっている。

2 西駒郷の将来像

西駒郷基本構想における西駒郷の将来の姿

今後も、地域生活を希望する方の移行を進め、将来的には入所授産施設を廃止し、平成24年度（構想期間最終年度）には60人から100人程度の施設入所支援事業所となることを目指す。



入所者の減少により、利用施設の集約化が図られ、効率的な運営が可能

3 財政支援の継続期間

西駒郷基本構想に基づき入所者の地域生活移行が進み、施設の集約化により人件費の大幅削減が可能となる平成24年度までは必要な財政支援を継続し、平成25年度以降は他の民間社会福祉施設と同様に原則として自立支援給付費のみによる運営とする。